

ロシア太平洋艦隊の極東における軍事演習

令和5年5月
防衛省

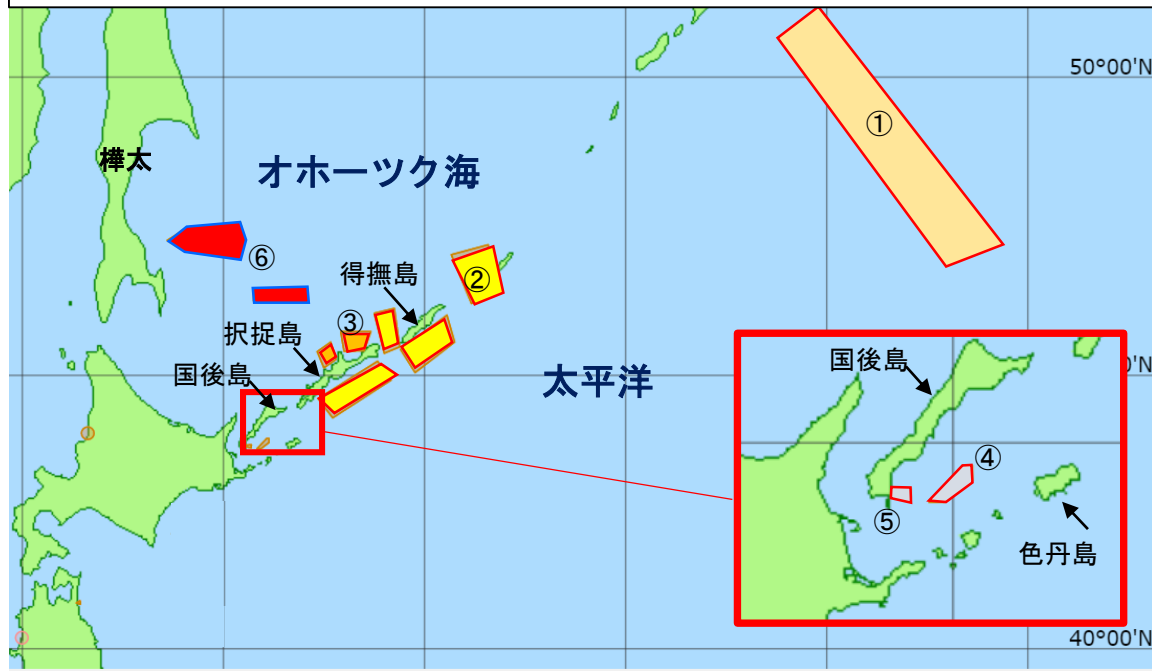
資料源:各種報道等

- 4月14日から20日にかけて、ロシア海軍太平洋艦隊は抜き打ち検閲を実施
 - ・ ウラジオストクを拠点とする太平洋艦隊は、北洋艦隊と並び戦略原潜(核戦力)を有する、ロシア海軍の主力艦艇部隊
 - ・ プーチン大統領は、「ロシア海軍の兵力は、ウクライナ方面を含むどの方面の紛争でも使用可能」と発言
 - ・ 太平洋艦隊の演習は例年実施されているが、公表ベースの参加人員・艦艇は昨年に比して増加
 - ・ ショイグ国防相は、今次検閲の目的を「①オホーツク海南部への敵の侵入防止及び②「南クリル諸島」(ママ、北方領土)とサハリン(樺太)への上陸撃退能力の向上」と説明。

⇒ ロシアの核戦力の一翼を担う、戦略原潜の活動領域であるオホーツク海の軍事的重要性の高まりも背景に、ウクライナ侵略の最中にあってもロシア軍が極東方面で活動し得る能力を誇示。

検閲に際して発出された航行警報海域

- ①期間: 4月17日~20日の毎日0700i~1900i、目的: ロケット射撃
- ②期間: 4月18日~22日の毎日0700i~1900i、目的: ミサイル射撃
- ③期間: 4月18日~22日の毎日0700i~1900i、目的: ミサイル射撃
- ④期間: 4月18日0900i~1200i、4月19日~21日の毎日0700i~1200i、目的: 危険な訓練
- ⑤期間: 4月19日~21日、26日~28日の毎日0700i~2200i、目的: 射撃
- ⑥期間: 4月18日~23日の毎日0700i~1900i、目的: ミサイル射撃



昨年の太平洋艦隊演習の規模との比較

	22年6月の演習	23年4月の検閲
人員	1万人	2万5,000人以上
艦船	140隻以上	約160隻
航空機	60機以上	約90機

主要参加アセット

	アセット名	
艦艇	ステレグシチー級フリゲート	ウダロイ級駆逐艦
	グリシャ級小型フリゲート	タランタル級ミサイル護衛哨戒艇
	マルシャル・ネデリン級ミサイル観測支援艦	
	各種潜水艦	
航空機	Tu-95MS爆撃機	Tu-22M3爆撃機
	MiG-31戦闘機	IL-78空中給油機
	Tu-142対潜哨戒機	IL-38対潜哨戒機
	Mi-8ヘリ	Ka-27Mヘリ
地对空ミサイル	S-400	PantsyirS
地对艦ミサイル	バスチオン	バル